

「札幌駅前通地下広場の設置について」(素案)に対する  
意見募集の結果について



平成 22 年 (2010 年) 9 月

札幌市市民まちづくり局総合交通計画部交通計画課

市政等資料番号 01-A01-10-729

## 1. 意見募集期間

平成 22 年 6 月 17 日(木)～7 月 16 日(金) (30 日間)

## 2. 資料配布場所

市役所 (5 階・交通計画課または 2 階・市政刊行物コーナー)  
各区役所 (総務企画課)・各まちづくりセンター  
札幌市ホームページ

## 3. 意見募集の結果

### (1) 提出状況

提出者数：7 人  
意見件数：22 件

### (2) 提出方法

メール：6 人  
持ち込み：1 人

## 4. 意見の概要

ご意見の概要とそれに対する本市の考え方は下表のとおりです。  
(下表では、22 件のうち同種の意見をまとめ、20 の意見に集約しております。)  
なお、お寄せいただいたご意見につきましては、今後の取り組みの参考にさせていただきますが、素案の修正はありません。

意見の概要		本市の考え方
地下歩行空間の整備に係るもの		
1	都心の既存の地下施設には休むスペースがなく不便を感じていることから、新しい地下歩行空間には、一定の間隔で高齢者や障がい者に配慮したベンチなどの休憩施設を設置してほしい。	地上への各階段下にベンチを設置します。また、広場の部分にも仮設のイス・テーブル等を並べて、休憩スペースとして誰もが座って休むことができるような運用に努めていきたいと考えています。
2	パンフレットやWEBサイト用の地図や、現地避難図の製作にあたっては色弱者に配慮した色使いをお願いしたい。	案内サインを含め、すべての方に分かりやすいものを製作してまいります。

意見の概要	本市の考え方
<p>3 シンプルかつスタイリッシュで清潔感のあるデザインの内装となるよう期待している。</p>	<p>施設のデザインについては、学識経験者や専門家の意見を聞きながら、シンプルで暖かみを持った落ち着いた空間デザインを採用しています。</p> 
<p>4 トリックアートなどを取り込んで面白い空間を作ってほしい。</p>	<p>本広場は用途を特定することなく、多様な用途に活用していただきたいと考えてデザインしており、壁に特定のアートを取り込んだり、常設の設備等を設けることは考えておりませんが、お寄せいただいた内容につきましては、広場の管理者から使用承認を得て、作品を展示したり、展示パネル等に掲示することは可能となります。</p>
<p>5 北国の芸術文化を高め創造力を養うスペースとして活用するため、市民であれば個人・団体を問わず誰でも自由に参加でき、掲出料金、期間、サイズを規定して展示できる壁面展示スペースの創設を要望する。 多くの市民が気軽に鑑賞し、散策することで健康的であり、北国独自の芸術性の発見にも繋がり、楽しく創造的な空間となることを希望している。</p>	
<p>6 地下歩行空間内に自転車専用道路を設置してほしい。</p>	
<p><b>常設施設・店舗等の設置要望</b></p>	
<p>7 中央図書館等、市内の文化施設の分館や文化イベントの広報資料室、あるいはミュージアムショップといった機能を兼ね備えた総合メディアセンターを駅前通の地下空間に開設する。 公共交通が集中し、通勤・通学・買物の結節点であるので、気軽に本に親しめるカフェや書店も併設し、教養に役立つ講演会や映写会も行う。中心街で教養発信空間と歩行・消費空間が一体化することで、通行人・買物客が読書活動に参加し、読書する人が買物・飲食の消費者にもなる好循環を生む。 また、市内文化施設の分室として展示・講演会・イベントを行い、音楽や映像を鑑賞できるようにすることで、これらの施設に足を運ばせる呼び水・起爆剤になる。 図書館は、情報を得るために人が集まり長時間滞留するため、総合的な情報発信基</p>	<p>本地下歩行空間は道路であり、他の用途を主目的とした常設の施設や店舗の設置はできませんが、広場とする部分については、広場の管理者から使用承認を得て、臨時的に仮設物を設けるなどしてスペースを活用することは可能となります。</p> 

意見の概要		本市の考え方
	<p>地としても貢献度が大きい。中心街の優れた立地を街づくりの拠点とする千載一遇のチャンスである。</p> <p>さらに、市が経営する文化施設のグッズや雪祭り等の季節限定グッズも通年販売することで、各施設の宣伝や市民・観光客に足を運ばせる契機となり、収益にもなる。季節限定グッズの通年販売は、その季節になったらまた札幌に来ようと思わせる効果もある。</p>	
8	アスレチックジムを設置する。	
9	障がい者雇用の場として喫茶店を設ける。通路を広く取り車椅子でも利用できるよう、真ん中に目立つように設置してほしい。	
10	短時間利用が可能な託児所コーナーがあると、親が便利に利用できる。	
11	流行のショップを集めたフードコートを導入したり、アパレルショップを誘致して、札幌から話題を発信する。	
活用内容のアイデア		
12	「外国人との交流の場」と位置付け、音楽・芸術・観光の広告の場とすることを提案する。500m美術館と連携して外国人の芸術を定期的に展示するなど、観光都市・国際都市札幌をアピールすべき。	<p>本広場は用途を特定することなく、多様な用途に活用していただきたいと考えており、お寄せいただいた内容につきましては、広場の管理者から使用承認を得て行うことができます。</p> <p>また、札幌らしさを発信する提案につきましては、市や沿道地域に係る取り組みとして、今後の参考とさせていただきます。</p>
13	地域ブランド発信のための物産展・写真展などを開催する。	
14	サイン会やファッションショーを開催する。	
15	道内で撮影された映画や学生などアマチュア映画作品を上映する。	
16	演奏会、スピーチ・研究発表の場に。	
17	芸術のアトリエ・展示の場に。	
18	北海道スポーツの展示会の場に。	
19	オープンなバーを設置する。	
都心まちづくりのあり方について		
20	大通駅を中心に地下ネットワークで結ばれる圏内をベロシティと定義し、一般車の乗り入れ規制と、地下施設と連携したバスや専用レーンやコミュニティサイクル、ペロタクシー、有料駐輪場など自転車の利用環境の充実により、都心の回遊行動の活性化を図る。	<p>都心の回遊性の向上は本地下歩行空間の設置目的の一つであり、その実現に向けては、地上部の交通との連携も不可欠であることから、具体的な提案として、今後の施策への参考とさせていただきます。</p>

長文のご意見につきましては、趣旨を損なわない範囲で、要約させていただきました。